

学校視察報告

8月30日（月）、本校の設計をしていただいている『伊藤建築設計事務所』さんが、今までに設計をした学校2校を視察して参りましたので、ご報告します。視察した学校は大町市の「仁科台中学校」（昨年校舎は竣工、現在校庭を工事中です）と塩尻市の「塩尻西小学校」（平成14年竣工。武藤前校長先生が赴任された学校です）です。伊藤建築設計事務所の方3名と特別支援教育課から1名、長野養護学校から1名、本校から保護者1名、職員6名で行ってきました。

《仁科台中学校》

とにかく広い敷地に、県産材をふんだんに使い、ゆとりと温かみのある校舎、外断熱（冬暖かく夏涼しい）で煉瓦造りの、中も外も気持ちの良い校舎でした。敷地と予算に限りのある本校では、同じようなゆとりのスペースはとれないかもしれませんが、参考にしたい点はたくさんありました。

空間を広く感じるために



教室の廊下側扉のガラスを大きくする



つけなくても支障のない壁はつけない。ここは、職員室から壁なしの印刷室です

図書館の本棚は、板が可動式で、本の大きさに合わせて動かせる

使いやすい・気持ちの良い工夫



生徒昇降口
人数の割にコンパクトな印象。上履き入れと下足入れが分かれている。バリアフリーのスロープになっている



廊下の延長、体育館前のホール
真ん中にある丸柱



各部屋の棚は、壁を有効に使って、高さも部屋に応じて工夫してありました。



調理室は調理台の下に、鍋やフライパン等の調理器具をしまっており、教室の棚はそれほど大きくない。

木の質感が気持ちよい
昇降口前の階段。
絵もたくさん飾ってありました。





音楽室
蛍光灯のつけ方が工夫されていました。均一的な照度を得るためとデザイン性。

芝の中庭
窓の外に緑を見ると、やはりホッとします。



外壁
煉瓦で、とても雰囲気の良い外観でした。

木を使うことで、ろう学校として必要な「反響の少ない校舎」になります。可能な限り、廊下や壁は木を使えば良いと思います。「こんな風になっていたら、便利だったり、楽しかったり、愛着を持って使うことができるのかな」と思える工夫がいくつもありません。

《塩尻西小》

限られた敷地に校舎を建ててありました。内断熱で、口の字型の校舎でした。事務室で、暖房・止水等全管理ができることは、便利であること。窓は、横開けが便利であること（押して開ける窓は、年数と共に開けにくくなってしまいうそうです）。風の通りを考えた方がよいこと。そして、やはり可能な限りのオープンスペースが、広く感じ、多目的に使用できる良い方法であり、木を有効に使う良さも感じてきました。



外観
屋根の形状や色の工夫に特色



図書館のくつろぎスペース



南側正面の木の階段は、大きく開放的な窓から、桜の木やウサギ小屋を眺めることができ、心のオアシスのような場所。大きなガラスの清掃は大変だそうです。（業者さんをお願いします）



暖房はFFストーブで、灯油スタンドから、灯油を運びます。



灯油スタンド



パソコン室+廊下（オープンスペース）
エプソンがある塩尻市ということで、PC室は、大変工夫してありました。塩尻市は、ITC教育に力を入れているそうです。

これから、実施設計に入りますが、具体的により良い学校になるように、関係の皆様と相談をしながら、進めて参りたいと思います。ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。これからの協力をお願いします。

